



武家嚴制錄續篇

自十至十二



73
6534
14



門 3
號 6534
卷 14



武家形制録續編卷之十
享保七壬寅年分



一 來 十日大紋行列、東殿山、近雲屋、白湯、新
 作出、其長行列、動、本、香、成、中、年、明、信
 五、内、書、波、方、と、も、ハ
 一 所成、之、節、是、火、書、并、油、の、多、く、清、番、行、列、交
 西、動、北、島、の、方、去、り、列、動、の、也、を、趣、も、中、年、付
 下、と、奉、り、所、成、の、通、振、の、之、を、分、り、り、列、動、の、也、
 一 行列、の、水、の、動、方、の、信、受、の、存、由、断、の、成、り、出、来、り、
 書、は、方、の、入、り、と、り、後、の、也、と、上、

昭和十四年
一月十九日
購求

正月二日

- 一 本 大行好尚。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 坐 下其長好尚。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 内 老後の方。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 清 清し候。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 火 火の事。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 行 行の事。おまふ山所宮。沖參活良。
- 一 波 波の事。おまふ山所宮。沖參活良。



二月廿一日

覚

- 一 目 解 書 籍 其 用 有 而 特 之 吾 等 之 身 年 月 日 分 不
- 一 持 之 其 家 事 又 以 知 之 百 姓 所 人 等 之 事 也
- 一 亦 君 右 之 書 籍 於 此 之 持 之 其 身 之 事 也
- 一 形 國 文 之 風 土 記 之 所 在 全 部 之 但 風 土 記
- 一 左 右 出 處 所 在 之 方 也
- 一 中 朝 月 令 之 於 裏 國 史 之 言 行 之 歷 書 教 之 所 在
- 一 有 之 以 之 詳 本 言 之 以 内 事 之 所 在 之 事 也
- 一 右 書 籍 之 儀 之 所 在 之 事 也

一 正法在族公已上

一 正月

一 目錄

一 新國史

一 中野無記

一 寬平日記

一 付集解

一 延喜日記

一 金令抄

一 弘仁式

一 貞觀式

一 法曹類林

一 為政錄

一 風土記

一 本朝月令

一卷
三卷より六卷まで

一 律

二卷より六卷まで
八卷より十卷まで

一 令集解

二十四巻より二十七巻まで
三十七巻より三十九巻まで

一 根道の方より所動不及
一 引別出動の事を経たはるはるの故を由事なり
之故も方より建つてはるの由事なり
已の事後の方より一に成る事

五月十八日

少為書物に漢字の中納月令より新書園史と古付海
巻教の由事なりと申す事にお弱通たてと遠く是
教の由事なりと申す事と致事なり甚教の由事なり
その事の方より海に成る事

當二月

三年の予子七月大書福垣意の事なり
源里效能なりと致し中書なり
所待ふ事合に形の中源里進放なり
付事進る事以味なり其は源里進放なり
お取の事なり平定味能語語なり
後の方より海に成る事

向後源里文なり
支配方より引語文なり
足事なり他は事なり
文中中なる事なり

の事

右の通商後其の思得得脱文を申す

宣二月

右の通商の事

科人遊放

右科人位に授けたる放免或は家別兩面又は其の
科くは科ホクと云ふ付放免者白簿と評くある
有るもの内は其の在通商地に放免者有
る者ありて是年於て儀も遊放の事なきは
其の付する於國亦其の在通商地遊放の事あり

納付宣免の事
遊放の事ありて納付の事ありて
其の在通商地に放免者有る者あり

宣二月

宣

一 所代宣免の事

宣免の事ありて其の在通商地に放免者有る者あり
其の在通商地に放免者有る者あり
其の在通商地に放免者有る者あり
其の在通商地に放免者有る者あり

魚くさくさ

一 近代禮ありき莫たふ京多き事この事よる日節を
きり字候と先なる大系は又城の事

信守、古語未可致し

右礼物語の事、京多き事、信守其始家内なる事
相いりて西へは、信守の事、信守の事、信守の事
とせ礼候と兼書なり、信守の事、信守の事、信守の事
信守の事、信守の事、信守の事

寛政二月

私云は古語家にて、信守の事、信守の事、信守の事

東流下合系之卷一冊別

向後屋敷へて、信守の事、信守の事、信守の事
信守の事、信守の事、信守の事

右、信守の事、信守の事、信守の事

寛政二月

私云は、信守の事、信守の事、信守の事

羽伏の事、信守の事、信守の事

改酒與、信守の事、信守の事

其、信守の事、信守の事、信守の事
信守の事、信守の事、信守の事

つらお渡り

一 有藤治代府よりまのち中山性神言理我流亦全

一 再是程申るる得る我流先んて申す

一 右同以 他刀根等之打擲合々之申す

但酒相候主人の引の申す欠落申すは主

人之云之日の内いひ欠落は申す申す

一 右二ヶ条町人の別率令申す治事同以他主之

老高下由り申す

酒相言治道申換し老

一 色料四ヶ条損失老に云せ申す申す之程申す

上隈町市分事

寅二月

四十九ヶ条

一 志坂町内分東に新地陣通り酒池外作し此外

陣通り新橋南に志下海塔之寺切通し未羽橋

より西に新地陣内通し松平越中寺橋申す

白銀寺殿申す

八十九ヶ条

一 新地堀之内海池田内橋棟申す

藤之柳申す

新文之巻
十位辻表所
後有人名
と申す

小日向の丁家

左之邊

小日向の丁家

次郎右衛門

一 本旗の西へ概丁あり田舎ありと田舎あり南の古
海り赤坂の道赤坂の土井伊豆と横あり山王
と永田と橋筋岸ありと山公東とあり同
歩の亀井隠後と種あり通橋田舎端あり井伊
掃於政柳の屋敷あり海り本旗ありと南の八丁
旗地あり海りと本旗丁川あり昔新綱丁松平

右邊の言積りあり

半辺白根丁家

依云忠平

半之字

一 稚子橋の版あり海り入地あり水陸あり後橋

系物就上所礼物負數減少之是大概

一 金百枚以上者 十枚

一 同五指枚以上者 五枚

一 同三指枚以上者 三枚

一 同二指枚以上者 二枚

一 銀千枚以上者 百枚

一 同五百枚以上者 五十枚

一 銀三百枚以上者 三十枚

一 同百枚以上者 十枚

但五枚以下共五枚

之數

一 同 三十枚 五枚

一 同 二十枚 三枚

一 時眼後百以上者 絹綆 角三指卷

一 同 五十枚 絹綆 角二指卷

一 貳十者 絹綆 角十卷

一 同 十者 絹綆 角二卷

一 同 四者 絹綆 角一卷

一 綿三百把以上者 五指把

一 同 二百把以上者 三指把

- 一 同百把者 二十把
 - 一 同晒布百疋以上 三十疋
 - 一 同 百十疋 十疋
 - 一 同 百十疋 十疋
 - 一 同 二十疋
 - 一 十疋
- 此所以内土産物物之是又減少之管之并之式
 少るも産物物之は外故に土産物之何れも物物之におり
 惣ら敷種之を其内減少之管之
- 一 端年重陽案當時彼教之儀大身小身とも一
 言之ら指之

- 一 隠居者之物内送方之物之におり
- 一 番曲之振右白銀減少之管之
- 一 所産者又之役身臨時之物之におり
- 一 右之通おる之新之禮物中も亦之管之
- 一 之の故に度改之り之の管之物之におり
- 一 之におり

寅二月
 是

熊野三山権現社大般若寺今度

乙儀多事附之亦有其其之勅化事一也
中より並法用之其其之勅化事一也
巡行して其其之其其之勅化事一也
月身及雅儀の身於江戸を敷く
及内お族の儀の身於江戸を敷く
右三山之輩南地諸大名を敷く
之儀致勅化之事其其之勅化事一也
其其之勅化事一也
其其之勅化事一也
其其之勅化事一也

- 一 此儀多事附之亦有其其之勅化事一也
- 一 中より並法用之其其之勅化事一也
- 一 巡行して其其之其其之勅化事一也
- 一 月身及雅儀の身於江戸を敷く
- 一 及内お族の儀の身於江戸を敷く
- 一 右三山之輩南地諸大名を敷く
- 一 之儀致勅化之事其其之勅化事一也
- 一 其其之勅化事一也
- 一 其其之勅化事一也
- 一 其其之勅化事一也

宣四月

今日新坂大車坊見且及以 信行公

村瀬伊左衛門

竹中主水

右寫因幡守

三寫清左衛門

水谷淺之介

赤井圖書

金田因幡守支配

内藤采女支配

泷川清波支配

為子内膳支配

武家嚴制編續篇卷之十一

一 大車有之時者才上打取下人十付在取石防一在
 一 市儀勿論招より下人お二成見格出お菓子
 一 力防極白身より通る中合至自今以後右出
 一 為名より風下見且及人止 作付山方才上取取
 一 人教と申し能防り其亦見局台止仕
 一 答子而花子死し儀とも見且と面より名取一為
 一 一山間中座可はお増は事
 一 一少力大車者妻子お二人と付送はりおる下人二お

沙帳子に草物に上りて

但只今と二ヶ所と向て土地所有未入通

一 重陽策當時扱只今と三ヶ所と向て一向

比懸山月塚に小社に上り

但只今と二ヶ所と向て地所有未入通

四月

元

一年中月次扱上物只今と一ヶ所と向て一向

土産に内中以上取て取事

一 右水と一ヶ所と扱上物に要以月土産物



比魚魚多々菓子何れも元加一都合四下度
積りて只今と或は壹度或は二二度扱上
比に尤も通を多し事

但おより府扱上物等と向て是亦

有りて事

一 酒肴に菓子類も比内土産を以て比に

比名物扱上は比りりり比月物同様に

扱上事

一 扱上減中の付署等比概同様に物

向て後より比其扱上事録合扱上物

何事

四月

先年言何年中款上物之儀付不紙書有
在右方右方付之紙之紙知事之白前前通
只今言一年中款上物之書三月今何之何夜
二つ言上之紙紙之紙書有之何之已上

口上

款上物之方七款上物之方七款上物之方七
上之已上

有言院極才七回忌之付

沙香真款上之矣

和云之款上之紙書有

一 白銀拾枚

六拾万石之

一 同 六枚

二十万石之十九万石之

一 同 二枚

拾万石之九万石之

一 同 二枚

五万石之九万石之

一 同 壹枚

壹万石之四万九千石之

壹万石之四万九千石之
白銀拾枚

以上

一 通状上物之成、
明法者、就、不及、已、と
右、通、つ、ら、お、觸、い

四月

一 奉、り、月、海、日、増、寺、
下、秘、令、太、刀、帶、中、堂、上、抄、列、初、の、成、
成、成、道、筋、且、又、火、と、甚、美、け、同、書、
列、初、の、成、の、成、書、付

一 但、何、成、依、者、小、勢、
一 且、状、の、成、列、初、の、成、
一 同、設、大、の、内、向、書、
一 四月、廿、二、日

一 養、子、い、ま、
一 同、設、大、の、内、向、書、
一 四月、廿、二、日

一 養、子、い、ま、
一 同、設、大、の、内、向、書、
一 四月、廿、二、日

養子とていふは実子出来ぬとて実子家督と
し作付る愛い又養子とて作付ぬれ大に返り
し養子何とていふは愛いぬれぬとていふは病氣
変りしや云難成候しお極り養子返りしは
戻支配せしと承應実方にお尋ねお遣り
其下之改支配と宗実子と家督とを尋ね
預り病氣又と養父とて叶ふ中の一返り候
とて養子返りしは実子を家督と 作付る
爰に但宗実子作付とて 作付問難し候
者無しとて初寄預り候所一養子ありとて

候とて為務は次第候とて

宗実月

- 一人能事鉄物大將元中合し次第
- 一 意方所成し其時あり候所候とて只今とて
通りぬる書とて若し我に致し而目見ぬ候とて
之書候所候とて一時々とて能為致交代當書
候とて時あり候とて致し而目見ぬ書とて若し
及居代書日とて致し交代候とて
- 一 惣ろの書とて致し退出し候とて交代お替儀
も致し出来ぬとて只今當書とて致し交代候とて

但組中付るるなり其改言は振る

右ノ通定又月部計帳書は月改出言中合する

覚

想と進年法固凡水ノ換免打讀出宛納方不之身
法旗中ノ少給米重後方并法高入する少拂方
亦之及至序箇通 少穂ノ給出京降有之尚也
像る大勢ノ内給米重後方并居色其之支去年
法必ある不納其之控川疎亦之破換亦之有る
新捨至教ヶ内少善法之伴外支給之あり以
計科不之百姓大及飢餓之老尤ノ教米重重

其之少南地におわく少減也石垣方及中ノ
取ノ破換教不有之控川ノ内入再控減ノ少
不之身去去年少切米重之内少ノ少減也
亦之少穂ノ向減少也後之 経年又少穂ノ内
も運送悪変所ノ内年貢米重不之少少穂ノ
少穂ノ内下直ニ納りては給米重後方
少南地にお場言ふ米重ノ内被是正失却又
少切米重ノ後之別之少穂之振り
思召ノ内南米重ノ内去冬少切米重減其ノ内
少穂ノ内南米重ノ内去冬少切米重減其ノ内

ふと遊し事とす政法之西人お中難と推禮西途
感とすの思所内也了後法没亦と心持と
つお物とす勿海印と自本了致との思百と事
海、 市身之出趣ととも 思百との思百と事
実とお物と校との事作との事

寅五月

武家嚴制録續卷之十二
相州之橋城之島志抄鳥羽菱島西公兼護
舟法早舟其外武家之船之進出月分於浦
賀石鏡之依之此及之札おまると舟方之者
大く之舟おまると合度とすの事 堀隈政事とす
相州之橋城

是

井上河内と率去舟團お表向と西と老中
完る時公の使と也榎姫とすお何と事
一 鷹之間詰着とす派類法書政物政法政令

作付は長年先新に構へ思ふに
身はくは 作付は名色銀申す
心

右に申すは宮二月十七日
七月三日万石の商に
宛てて申す由は又系勤交代半年の
に於て由は 領海

諸大名に 領海申す付

伊旗申すに 百萬石家
言ふは先規と架多は
切米の技持方

妻と云ふ用節渡方
引たるは 年定年不足
このゆゑに 此方と云ふは

或るに 此採用を
此に 此に 此に 此に
相海に 此に 此に 此に
此に 此に 此に 此に
百人も 此に 此に 此に
此に 此に 此に 此に
米百石に 此に 此に 此に

作舟師の道金俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵中舟師の道金俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云
俵納り方と云ふ事新田小丸云

云

一 糸通取眼の俵只今と云ふ概四月に議定六月交
替に 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

一 俵納り方と云ふ事新田小丸云

此等之新稿西... 其言... 張氏...
... 相... 事...

一 當年... 米... 年... 秋... 中... 之... 納... 已... 上...

宣七月

一 今... 及... 万... 石... 以上... 八... 本... 其... 後... 并... 年... 動... 其... 長... 湯...
用... 務... 之... 多... 年... 後... 由... 紙... 之... 出... 其... 有...
年... 動... 出... 行... 之... 中... 又... 其... 海... 亦... 不... 以... 或... 而... 地...
其... 後... 之... 年... 八... 本... 其... 後... 其... 出... 另... 委... 与...

一 今... 及... 万... 石... 以上... 八... 本... 其... 後... 并... 年... 動... 其... 長... 湯...
用... 務... 之... 多... 年... 後... 由... 紙... 之... 出... 其... 有...
年... 動... 出... 行... 之... 中... 又... 其... 海... 亦... 不... 以... 或... 而... 地...
其... 後... 之... 年... 八... 本... 其... 後... 其... 出... 另... 委... 与...

上

一 今... 及... 万... 石... 以上... 八... 本... 其... 後... 并... 年... 動... 其... 長... 湯...
用... 務... 之... 多... 年... 後... 由... 紙... 之... 出... 其... 有...
年... 動... 出... 行... 之... 中... 又... 其... 海... 亦... 不... 以... 或... 而... 地...
其... 後... 之... 年... 八... 本... 其... 後... 其... 出... 另... 委... 与...

右... 比... 十... 年... 之... 後... 也...

右... 滿... 法... 河... 運... 枝... 房... 亦... 以... 其... 之... 初... 寺... 社... 等... 門...
伏... 見... 寺... 門... 万... 石... 以上... 之... 大... 嘉... 隆... 一... 是... 言... 亦... 亦... 亦...

中... 後... 也...

右... 滿... 法... 河... 運... 枝... 房... 亦... 以... 其... 之... 初... 寺... 社... 等... 門...
伏... 見... 寺... 門... 万... 石... 以上... 之... 大... 嘉... 隆... 一... 是... 言... 亦... 亦... 亦...

上

吉中亦即... 亦即大名老熟交代

亦即大名老熟交代

辰三月

巳三月

松平安藤守

有馬三左衛門

細川誠中守

佐井左京守

松平浅右衛門

松平右衛門

松平右衛門

辰九月

巳九月

松平加賀守

松平出羽守

松平丹后守

右衛門和泉守

松平大炊頭

松平右衛門

松平陸奥守

卯三月

松平甲斐守

松平左衛門

丹羽左京守

伊豆守

松平信守

南於左衛門

海白守

春堂守

辰九月

卯九月

松平法政守

松平筑前守

松平中務守

上杉守

越田守

仙石守

系守

伊东守

福守

道守

垣 石 榎
堂山 勝之助
瀧島 孫三郎
毛利 但三郎
足 謀 但三郎
清島 如 永三郎
市 橋 三 次郎
杉 手 三 郎
古 方 辰 三郎
立 花 三 郎

織田 播磨 三郎
堀 辰 三郎
建 部 丹 波 三郎
加 藤 大 藏 三郎
京 極 三 郎
杉 手 三 郎
杉 手 辰 三郎
立 花 辰 三郎
加 藤 三 郎
大 村 伊 三郎

島 津 辰 三郎
六 甲 伊 三郎
毛利 周 防 三郎
大 田 景 三郎
毛利 清 三郎
市 橋 三 郎
細 川 伊 三郎
田 村 下 三郎
分 部 三 郎
市 橋 三 郎

大 一 兼 三郎
細 川 三 郎
森 三 郎
池 田 三 郎
一 柳 周 防 三郎
杉 手 三 郎
杉 手 三 郎
中 川 大 三郎
杉 手 三 郎
星 田 三 郎

木下大馬門住
 相良堂江
 森和永
 卯九月年無
 陽島加賀
 長月年無
 松平左衛門
 九光丹仔
 左桑花
 伊左和永
 藏田和永
 山崎和永

卯三月年無
 月九月年無

津路土作
 小出信徳
 木下紀仔
 池田内由
 九光大陽
 右島大和
 右島信徳
 谷出和
 吉木和

行相石見
 伊左播磨
 新田千住
 柳平武敏
 本島中務左衛門
 松平七右衛門
 松平信清
 本島左衛門
 松平左衛門

卯九月年無
 己三月年無

新庄後河
 一柳和
 藏田紀和
 新田和
 堀田伊豆
 内倉和
 松平和
 内倉和
 中田和

卯九月年無

松平源四郎
加藤和泉
水野操博
松平直道
本多紀信
本多兵衛
吉原和泉
酒井九郎
松平和泉
水野出羽

相馬信直
服部豊
飯沼安藤
吉原和泉
酒井石見
本多時久
吉原和泉
酒井和泉
真田伊豆
本多信方

卯九月系勤
辰三月系勤

松平周防
太田油中
有馬左衛門
松平采女
西尾徳政
植村右衛門
増山翁

卯九月系勤
辰三月系勤

牧野渡河
島村内膳
秋田信徳
松平紀伊
本多若狭
小笠原和泉
戸澤上総

水野書房之南 致合百四拾二人

尾之間
牧野誠中

森川出羽

小笠原信俊寺
升上持舟寺
喜山因幡寺
内宿伊賀寺
松平 市正
板倉 伊与寺
羊倉丹後寺
酒井越前寺
河井 市原
河井修理寺

辰二月第節
同九月第節

卯九月第節
辰二月第節

松平伯耆寺
去井大炊師
石川色殿師
板倉 色江寺
青山大膳宛
去波丹後守
去平 坂中寺
板倉甲斐寺
板倉譜波寺
河井伊勢寺

松平伊豆寺
朽木大膳
去井甲斐寺
松平 越前寺
牧野 同防寺
去平 越前師
内宿下銘寺

右所書身之通

羊年代之通

款合三指四人

阿部其良寺

河井其良寺

永井越前寺
三浦之波寺
三宅 梅前寺
京極 五膳寺
小堀 梅中寺

去屋丸系龜
内宿丹波寺
酒井信濃寺
福原丹波寺
本多孝家寺
安部持世寺
井之能後寺
大久保加賀寺
永井伊豆寺
内田信濃寺

鳥居丹波寺
乃田大隅寺
山口伊豆寺
秋元伊豆寺
福垣和泉寺
保科源正寺
松平右近將監
久世隆俊寺
阿部同徳寺
榎村士佐寺

右世系人三台合設百二人

右世系之圖之者三系先立者之在也
南地之系之者三系先立者之在也

右之圖之者ありて交代之図
松平横波寺
松平紀清寺
松平持津寺
松平求三寺
松平右京大夫
松平親元寺

井伊祐助殿
松平中絶寺
松平大守殿
松平播磨寺
松平親貞殿
松平兵衛殿

松平源正忠

右之府分

南河津役人并之府西

戸田山城守

安友對馬守

松平右衛門左

大久保忠之守

本井伊豫守

渡辺備中守

丹羽武部少輔

松平重之介

水野和泉守

吉原伊豫守

石川正和守

大久保信俊守

松平忠輝守

松平大亮少輔

高平之守

本回伊喜守

松平中堅守

水野三岐守

米津出羽守

北條正和守

中津之角少輔

井上正和守

永井援厂守

稻坂熊比守

右指九人及人

同部致申守

松平備中守

内友銀市

戸田右之守

堀 色江寺
遠坂下寺
細川備後寺
井伊之染織
依竹之政寺
松平備前寺
松平刑部寺
上杉駿河寺
堀田之四郎
石指寺人

柳生備前寺
松平之染織
井伊周備寺
依竹豐前寺
松平之某政
松平或戸少輔
堀田形部

前石上大夫於合或百六指之人

文政四年辛巳三月十八日寫竟

古屋惟明 淺見忠和
藤田延喜

淡路 佐田 守
松平 清房
依竹 平政
井伊 直政
細川 信元
松平 清房
依竹 平政
井伊 直政
細川 信元

淡路 佐田 守
松平 清房
依竹 平政
井伊 直政
細川 信元
松平 清房
依竹 平政
井伊 直政
細川 信元

